



# はしもと

## 〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

## 〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します  
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます  
常に新しく良質な医療ができるように心がけます  
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

## 〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



## 回復期リハビリテーション病棟

### 作業療法士の役割

作業療法士は、病気やケガなどが原因で身体に障害や不自由さを抱える方に対し、医師の指示の下でリハビリテーションを行い、日常生活に必要な能力を高める訓練や指導をする職種です。



作業療法士が専門とするのは、「リハビリ」の中でも身体的・精神的なものです。特に、回復期リハビリテーション病棟における作業療法士は、**食事・排泄・入浴**といった日常生活を送る上で必要になる動作（箸を持つ、炊事・洗濯・掃除をするなど）を中心に訓練します。

その他、木工・書道・将棋・園芸・ゴルフ・ペタンクといった趣味の一つとして行われるような動作も取り入れます。これらの動作は身体に適度な負担をかけ、それらの作業を通じて体や指の動きをスムーズにしたり、精神的にリラックスさせることを促すことができます。また、**応用的な要素が強い動作でもある為、単純な訓練に比べて判断力や記憶力を鍛えていくこともできます。**



## 認知症治療病棟

### 認知症に対する作業療法とは

料理や掃除などの日常生活における作業や**趣味活動・運動**など、様々な活動を通して認知症リハビリテーションにあたる事を「作業療法」といいます。

### 作業療法の効果

作業療法での活動は「**認知症の発症**」「**発症後の進行抑制**」の両方に効果があると言われています。脳に刺激を与えたり、達成感や喜びを感じたりすることで、周辺症状（徘徊、幻覚、錯覚、抑うつ等）の軽減も見込めます。具体的には、**体を動かす**ことが脳の運動野を活性化します。

### 現在の取り組み

身体機能、日常生活能力の維持・向上を目的に歩行練習を行っています。また歩く機会が少ない患者様に対しては、歩行補助具（POPO）を使用して歩行機会の提供を行っています。



## 栄養部



## イベント食をご紹介します！



## ごちそうの日（寿司）



散らし寿司 焼魚(秋刀魚)  
小松菜のおかか和え  
きのこの清汁 水ようかん

## ごちそうの日（赤飯）



赤飯 鮎の塩焼  
煮合わせ おぼろ汁  
夏みかんゼリー

## 病棟バイキング



今回の主菜は鯖の塩焼と他人煮でした。  
フルーツコーナーも人気がありました。

## 通所リハ

## おやつバイキング



当院では、さまざまなイベント食を提供しています。  
次回をお楽しみに。



## 看護部（外来）

## 高血圧と日常生活

高血圧では、血管の壁に高い圧力が常にかかっているため、血管の壁が障害され厚くなり動脈硬化を起こします。動脈硬化があると血管は弾力を失い血圧はさらに高くなります。脳の血管が障害されると脳出血や脳梗塞、心臓の冠動脈が障害されると狭心症や心筋梗塞を引き起こします。

高血圧の原因には、食生活・運動不足・ストレスなどの要因があげられ、日常生活の改善を心がけることが重要となってきます。

食事療法には、減塩・カロリーコントロール・タンパク質の摂取、運動療法には、有酸素運動のウォーキング・水泳・ランニングなどがあります。

家庭での血圧測定は、日頃の血圧レベルを知る手がかりとなり、高血圧治療の管理として重要となってきます。測定する場合は、朝食前・夕食前・就寝前などの同じ条件で、同じ姿勢で測定することが大切です。

入浴、季節、運動などにより一日のなかでも変動があるため、家庭で続けて測定することで、日々の体調が血圧をみて分かるようになります。続けて測定していきましょう。





## 通所リハビリテーションセンターはしもと

## ～夏祭り～

当センターでは、年に2～3回 家族会を開催しています。今回『夏祭り』というテーマで氷の彫刻、盆踊り、歌唱などを実施しました。たくさんのお客様や家族様に参加していただき、例年以上の盛り上がりを見せ、利用者様やご家族様から好評をいただきました。次回は、11月23日（木）に予定しています。



利用者様、家族様に参加していただくことで当センターでのサービス内容の様子や、リハビリ見学などを実施しています。また、施設見学は随時受付しております。お問い合わせは TEL (0875) 63-3700 担当 西山まで。

## ～リハビリ見学会～



利用者様、家族様の希望に沿った生活をしていただくためには、適切なリハビリメニューの作成が必要です。少しでも元気で自分らしい生活ができるように、家族様と一緒にリハビリの必要性を再確認していただくため見学会を実施しています。また自宅生活で困っていることがあれば、専門職によるアドバイスをさせていただいております。

## メディコポリス観音寺 デイサービスセンターはしもと

## 湯船に浸かって体の疲れを癒しましょう

睡眠と入浴は深く関係しています。暑い夏はどうしてもさっとシャワーで済ます人も多かったのではないのでしょうか。



しかし、それが夏の疲れを溜めてしまうひとつの要因なのです。体に蓄積された夏の疲れを解消し、ぐっすり眠るためには少しぬるいと感じるくらいの温度（38度前後）のお湯にじっくり入りましょう。副交感神経が刺激され、心身ともにリラックスできます。湯船に浸かりながらストレッチやマッサージをすると血行が促進され体も軽くなります。そして脱水を防ぐためにも入浴前後ではコップ1杯のお水を飲むよう心がけてください。眠る1時間以上前には入浴を終わらせ、湯冷めしないように布団へ入ることをお勧めします。

また、浴室もそうですが、入浴後のリビングの照明を落とすことでより体がリラックスでき、スムーズに入眠できます。湯船に浸かって体の疲れを癒し、これからの残暑を元気に乗り切りましょう。



## 家事活動 生活リハビリ



自立支援の一環として利用者様ご自身でおやつを作る生活リハビリの日を月に一度設けております。今回は冷やし白玉ぜんざいを作りました。白玉は白玉粉に水を加えて混ぜ、丸める作業では女性の利用者様はもちろん、男性の利用者様も積極的に参加して下さいまし

た。食べやすい大きさに丸めた白玉は茹でるともちもちとした食感で、とても美味しく出来上がりました。



## ボランティア 氷の彫刻



暑い夏に当施設では利用者様に涼を感じていただくため毎年氷の彫刻のボランティアの方に来ていただいています。大きな氷の塊を専用のノコギリやノミを使って削り、手早く作られていく作品に利用者様は「何が出来よんやろか」「生き物？」など想像力を働かせながら楽しめました。今年の干支である「雄鶏」の彫刻が完成し作品を近くで見たり触ったりしては「冷たい」「綺麗ね」と目を輝かせていました。



## 院内感染防止対策委員会

### インフルエンザにご注意！！ 感染予防に努めましょう。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる感染症です。インフルエンザにかかると、38℃以上の急な発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、体がだるいなどの全身症状が強く現れ、合わせて鼻水、咳、のどの痛みなどの症状もみられます。高齢の方、持病を持つ方、妊婦、乳幼児がインフルエンザにかかると、気管支炎や肺炎を併発し、重症化すると最悪の場合 死に至る事もあります。そのため、「インフルエンザかな？」と思われる場合は、早めに医療機関を受診し、適切な治療を受けることが大切です。また受診の際は、予め電話をしてから受診すると良いでしょう。

#### インフルエンザの予防

最大の予防法は、流行前にワクチンの接種を受ける事です。ワクチンの接種で感染しにくくなり、かかったとしても軽い症状で済むことが証明されています。



- 日常生活では、① 流行時期には無駄な外出は控え人混みを避けること、外出時にはマスクの着用をしましょう。  
② 帰宅時には、しっかりと手洗い・うがいをしましょう。  
③ 栄養と休養を十分に取らしましょう。

※ 当院では感染症流行時期のご面会の際には、擦式アルコール製剤での手指消毒とマスクの着用をお願いしています。

また、発熱・咳などの風邪症状のある方、下痢や吐き気などの消化器症状のある方、周囲にインフルエンザの方がいる場合はご面会をご遠慮頂いています。



## 訪問リハビリテーションセンターはしもと

### 第5回 ケアマネジャー向け研修会

橋本病院では、入院中のリハビリテーションだけでなく、『在宅で過ごす為のリハビリテーション』にも取り組んでいます。8月23日には、急性期病院や回復期病院から自宅に帰ったケースに関して、訪問リハビリの介入によりスムーズに社会参加や通所系サービスに繋がられた方のケース紹介を行わせていただきました。またワークショップでは、実際に病棟で勤務している看護師や理学療法士・作業療法士を交え、在宅生活で過ごすうえでの課題や、自宅に帰る前に認知症治療病棟・回復期リハビリテーション病棟で取り組んでいる事、実際に自宅に帰って生じている問題などの情報交換を行いました。

【日時】 平成29年8月23日(水) 14:00～15:30

【場所】 橋本病院 会議室

【内容】 講演Ⅰ 「退院後支援に関する症例報告」

講師：佐藤 和美 (訪問リハビリテーションセンターはしもと 理学療法士)

ワークショップ 「回復期リハビリ病棟・認知症病棟と在宅生活の実際」

担当：佐藤 勇人 (訪問リハビリテーションセンターはしもと 理学療法士)



#### ★次回開催のご案内★

第6回 平成30年2月14日(水) 14:00～

次回内容は未定ですが、平成30年度の制度改正にも触れていきたいと考えています。ケアマネジャー皆様のご参加をお待ちしております。

## 健康教室

## 香川県理学療法士会健康増進部様からの依頼で健康教室を行いました。

日時：2017年7月14日（金）10:00～11:30  
場所：観音寺市社会福祉センター（観音寺市）



講義内容は「認知症について」でした。  
参加者は24名で、コグニサイズでは楽しく実施することができました。

日時：2017年7月20日（木）10:00～11:00  
場所：河内農村婦人の家（三豊市）



こちらの講義内容も「認知症について」でした。  
参加者は27名で、積極的な質問が多く、とても活気がありました。

## 介護支援専門員連絡会での講義活動

## 地域包括支援センター様からの依頼で在宅生活におけるリハビリの講義を行いました。

## 講義内容「リハビリにおける利用者の状況把握」

日時：2017年7月6日（木）14:00～16:00  
場所：琴平町総合センター



日時：2017年7月13日（木）14:00～16:00  
場所：多度津町役場



## 学会

## 第36回 全国デイ・ケア研究大会 会期：2017年8月4日～5日 会場：熊本県立劇場

「趣味活動が可能となり活動量が向上した一症例」 上浦 敏治（理学療法士）

東日本大震災や熊本地震を経験した医療従事者の発表を聞くことができ、とても勉強になりました。現在、四国で災害は起こっていませんが対策を講じる必要があると再認識しました。





地域連携室

平成25年12月1日から行っている事前訪問（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の平成29年5月～6月の実績（回復期リハ病棟）を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：7月【24件】、8月【29件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：5月【7.5日】、6月【9.9日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：5月【18.9日】、6月【23.2日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は11.4日（2～28日）です。大変お待たせして申し訳ございません。

対象となる方

- 1.脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。  
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸随損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症から2ヶ月以内。
- 2.多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
- 3.外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
- 4.大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
- 5.股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。

リハビリは  
365日、1日3時間

提供させていただきます。また、チーム医療で早期に退院できるように取り組んでいます。



入院相談はお気軽にご連絡下さい!

橋本病院 地域連携部

窓口：大西宏美

電話：0875-63-3552(直通)

0875-63-3311(代表)



認知症治療病棟への入院相談もお気軽にご連絡ください。



移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出下さい。



事務部

～診療実績(H29.8月)～

病棟名	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	3A病棟 (35床)	3B病棟 (32床)
入院料	回復期 リハビリ	回復期 リハビリ	認知症 治療	認知症 治療
平均入院患者数	28.9人	59.8人	34.9人	31.9人
平均在院日数	84日	101日	400日	327日
在宅復帰率	82.6%	81.6%	-	-

平成29年10月より  
★インフルエンザ予防接種が始まります★

ご希望の方は、当院受付窓口又はお電話にて予約を承っております。お気軽にお問い合わせください。 Tel : 0875-63-3311  
\* 65歳以上の方は、市役所から届くお知らせをご確認のうえ 予約票をご持参ください。



～予防接種を受ける時期～

インフルエンザワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、およそ2週間かかると言われています。

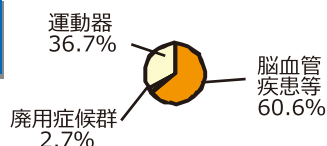
年によって異なりますが一般的に日本では12月頃からインフルエンザの流行が始まります。それまでに接種を済ませることが望ましいといわれています。

《かぜとインフルエンザの症状のちがい》

	かぜ	インフルエンザ
症状の出方	のどや鼻	全身に出る
発熱	38度前後の微熱	39-40度の高熱
寒気	軽くなる	強い
鼻水	ひきはじめに出る	あとから出る
せき	軽くなる	たくさん出る
頭痛	痛みが軽い	痛みが強い
筋肉・関節痛	痛みが軽い	痛みが強い



入院患者疾患別  
リハビリテーション  
内訳



## 日本慢性期医療協会 銅賞

### 日本慢性期医療協会より、研修参加優秀施設として表彰されました。

これは日本慢性期医療協会の会員施設を対象に、銅賞は4月～3月の間に入院（入所）定員100床（名）に対して、年間の学会・研修会の参加者数が10名以上14名以下が表彰基準となります。

今後も、より多くの学会や研修会に参加しつつ当院の取り組みを発表し、常に新しく良質な医療ができるように心がけてまいります。



## 回復期リハビリテーション病棟 納涼祭

回復期リハビリテーション病棟では、8月に納涼祭を開催しました。スイカ割りやカラオケを丸亀市の『京極くん』も参加し行いました。車椅子移動の方もリハビリスタッフとともに、「立って」「歩いて」の動作を一緒に行い、スイカ割りを行いました。また普段 嚥下食を食べている方も、言語聴覚士とともに、ゼリーやスイカ、ジュース等の甘いものを食べ、食事の時には見られない笑顔を見ることが出来ました。



## ボランティアのご協力

### ボランティアのご協力をしていただける方を募集しています！

内容として・・・（踊り、手品、紙芝居、大正琴や話し相手・介護など）

橋本病院へご協力していただける方は、連絡先：0875-63-3311 担当者：宮本 美恵子  
 メディコポリス観音寺へご協力していただける方は、連絡先：0875-23-3311 担当者：森 香代子  
 上記の担当者までお問い合わせ下さい。

## 募集のお知らせ

**募集**

薬剤師  
 看護師・准看護師  
 介護福祉士・介護職



まずは、病院見学にお越し下さい！  
 給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。  
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>  
 TEL 0875-63-3311（人事担当：安藤）

医療法人社団和風会 橋本病院  
 〒768-0103  
 香川県三豊市山本町財田西902番地1  
 TEL：0875-63-3311  
 FAX：0875-63-2651  
 入院相談直通電話：0875-63-3552  
 E-mail：wafukai@gaea.ocn.ne.jp  
 HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp  
 発行元：橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床  
 療 認知症治療病棟 67床

橋本病院指定居宅介護支援事業所  
 介 通所リハビリテーションセンターはしもと  
 護 メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと  
 訪問リハビリテーションセンターはしもと

